

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V 都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	現在の下水道事業は、人口減少や少子高齢化の進行によって、使用料などの収入が減少する一方、物価高騰により支出が増加しています。そのため、決算上では純利益を出していますが、他会計からの繰入金を多く入れており、経営状態は必ずしも良いとは言えません。 よって、経営状態の改善のための目標を設定し、その目標達成のためのアクティビティ（活動）を推進していかなくてはなりません。	経営状態改善のため、3つの目標を設定します。 ①収入の増加 接続率の向上と下水道使用料を増やすため、普及啓発活動を行います。その一方で、未収金の集金も行っていきます。 ②支出の減少 維持管理費増加に対応するため、ストックマネジメント事業や広域化・共同化事業を推進し、経営のスリム化を目指します。 ③経営の見直し 改定した経営戦略と現状を比べて、検証を行うことで、今後の経営健全化を目指します。
	施策	5 下水道		
	施策内容	公共下水道事業運営の適正化		
	その他、抛法令及び分野別計画等	—		
事務事業名		公共下水道事業運営の適正化		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	ストックマネジメント事業の推進 （R 8・9・10）	下水道施設の老朽化に計画的かつ適切に対応していくため、処理場・管路等のストックマネジメント計画の更新を行います。	（式）	1	1	62,000 千円	千円
②	市イベントでの普及啓発活動 （R 8・9・10）	市イベントにおいて、下水道PRブースを設置し、普及啓発活動を行います。	下水道PRブース来場者数(人)	500	500	0 千円	千円
③	下水道受益者負担金の未収金催告訪問 （R 8・9・10）	下水道受益者負担金未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	訪問数(回)	3	3	0 千円	千円
④	下水道使用料の未収金夜間催告訪問 （R 8・9・10）	下水道使用料未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	訪問数(回)	3	3	0 千円	千円
⑤	広域化・共同化事業の推進 （R 8・9）	将来の下水道施設統廃合に向け、関係機関との調整を行います。	（式）	1	1	0 千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
						令和9年度
①	（式）	施設・管渠等の老朽化対策に関する計画を更新し、計画的な改築・更新等を進めることで、支出の平準化・長期的視点での減額に繋がります。	—	—		—
③	回収金額(円)	受益者負担金の滞納分を回収することにより、公平かつ公正な負担が実現し、経営の健全化を促進します。（滞納額減少に伴い目標値減少）	1,663,900	1,000,000		令和9年度 1,000,000
④	回収金額(円)	使用料の滞納分を回収することにより、公平かつ公正な負担が実現し、経営の健全化を促進します。（滞納額減少に伴い目標額減少）	53,548	50,000		令和9年度 50,000

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り		改善の余地	今後の方向性
		☐ コスト	
		☐ 活動	
		☐ 成果	
		☐ その他	